

トイレの設置位置等が定まっていないこと、中庭はどのようにしていくのか、これまでの議論で確定していない部分について質疑がありました。

理事者からは設計の中で工事費、優先順位も含めて検討した上で、意見も聞きながら確定していきたいとの説明がありました。

委員からはこの確定にあたって市民とのワークショップの方法についても質疑がありました。

理事者からは、ある程度案ができた段階で、各団体の代表の方々の意見を取り入れるワークショップを考えているとのことでした。

委員会では今後の進捗も含め、審査を続けてまいります。

● 建設産業委員会

審査の結果、議案4件について全て可決しました。

◆ 上下水道料金制度審議会の開催状況について

これまで行われた4回の審議会の内容について説明がありました。審議会では、人口減少等による料金収入の減少や物価上昇等による維持管理費の増加などにより、今後さらに赤字の増加が見込まれ、最大限の経営努力を行っても、なお収入が不足する状況であることから、料金改定が必要であること、また、水道料金改定の実施時期を令和10年4月からとした場合に、料金算定期間となる令和10年度から14年度の5年間の赤字を解消するためには、現行の約1.3倍の改定が必要との説明を行った旨の報告がありました。

委員からは、直近の値上げが15年前となっているが5年ごとに料金改定を見直す方が良いのではという意見や、市民負担を少しでも軽くするために地方から声を上げて国の支援を求めていくべきといった意見が出されました。

◆ 長尾山総合公園の各種事業の渋滞対策について

現在臨時駐車場として使用している道の駅隣接地の将来の分譲を見据え、費用面やおもてなし、観光の相乗効果などを考慮してスキージャム勝山を新たな臨時駐車場とする方針であり、次の10月、11月の3連休に試験的に運用を予定している旨の説明がありました。

委員からは、スキージャム勝山は遠すぎるのではないかと、雁が原など別の場所は考えられないのか等、様々な意見が出されました。

理事者からは、臨時駐車場の候補地を検討した上で、現在の道の駅、越前大仏の2か所での運用から1か所での運用とすることにより、経済性や利便性等で市にも観光客にもメリットがあることや、遠方から数時間かけて来た観光客が恐竜博物館が見える位置で渋滞により更に1時間以上待つことを考えると、もっと短い時間で到着できるスキージャム勝山なら理解を得られるのではないかと考えている旨、説明がありました。

◆ 勝山温泉センター「水芭蕉」について

「水芭蕉」は、指定管理制度を行ってきましたが、譲渡を基本的な方針とし、譲渡を行うことで民間運営によるサービス向上と市の負担軽減を図りたいとの説明がありました。譲渡条件は、「建物及び源泉を含めた施設・設備については無償譲渡、土地については売却又は賃貸とし、温浴施設の運営を20年以上行うものとする。譲渡を前提に手続きを進めるが、譲渡に至らなかった場合には公募によらない指定管理により、指定管理期間を1年間とする暫定的な管理運営を行う」となっています。

◆ 青果市場建設状況について

道の駅「恐竜渓谷かつやま」に隣接する青果市場の建設状況を視察しました。地元農産物を使用する飲食施設も併設されており、農業振興と地域の活性化が期待されています。今後の予定としては、令和7年10月下旬に市場施設を先行オープン、令和7年11月上旬には全館（飲食物販・市場施設）オープンとなります。



青果市場建設状況